

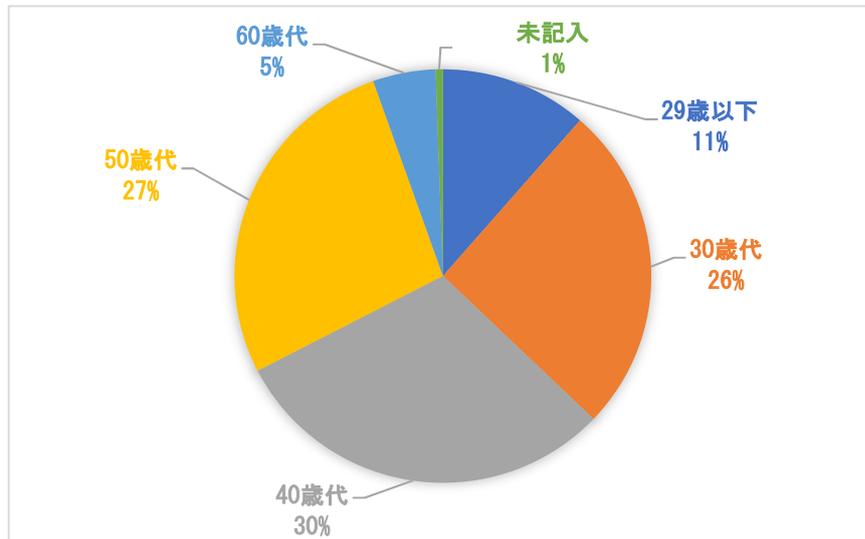
6 職員の意見

《避難所指名職員に関するアンケート集計結果》

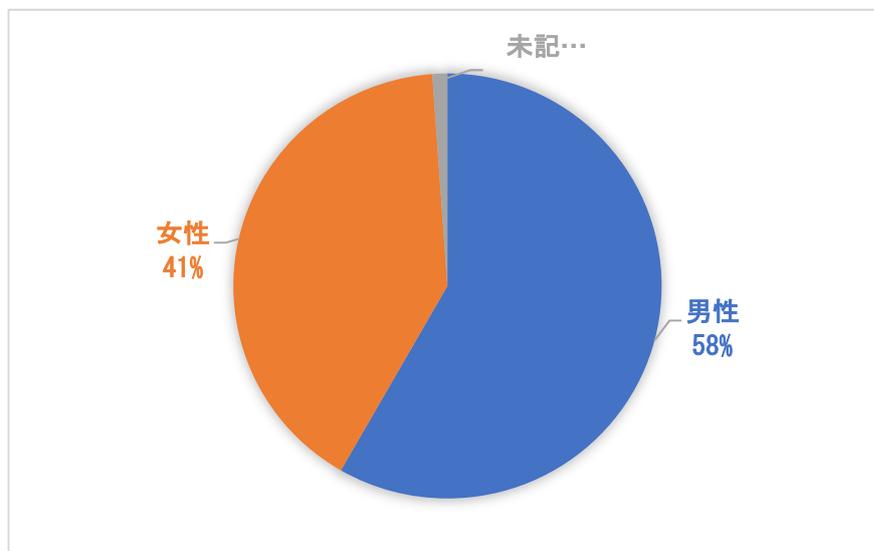
- 目的：令和6年能登半島地震発生当初における避難所での課題等を把握し、平時からの取組みを改善することで、本市の災害対応の強化を図り、次の災害に備えていく。
- 対象：令和6年能登半島地震発生（令和6年1月1日）時点の避難所指名職員
- 実施方法：電子申請（e-NIIGATA）または紙による回答
- 回答率：57.5%（回答数350／アンケート対象職員数609）

【基礎項目】

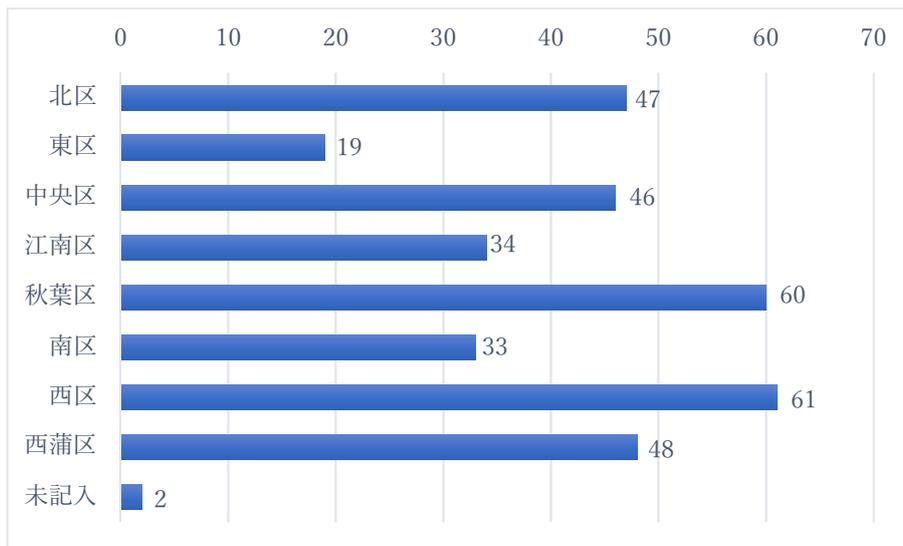
1. 年代



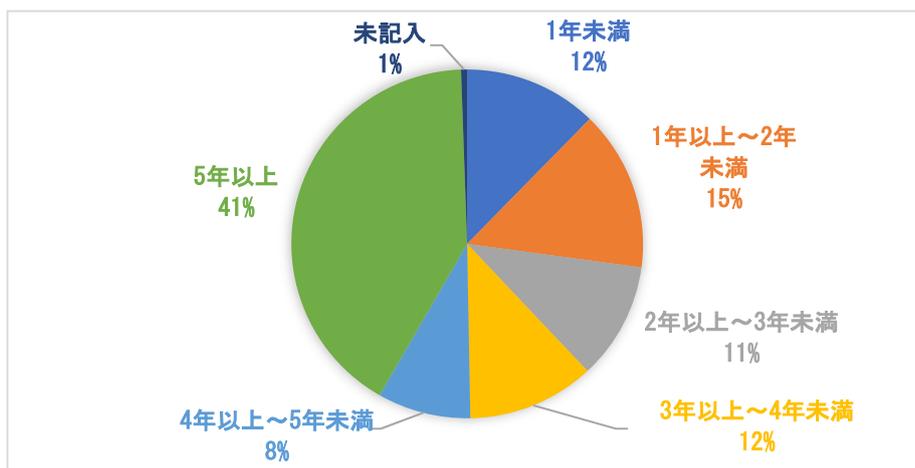
2. 性別



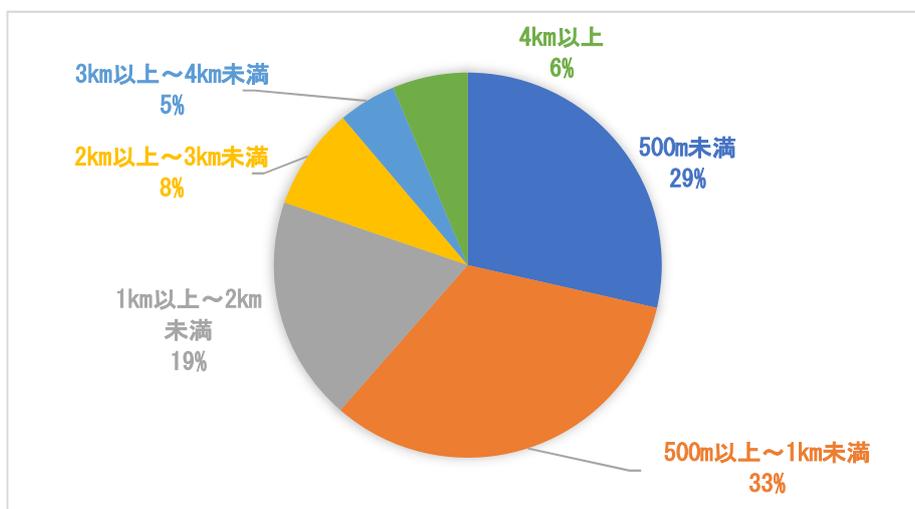
3. 担当していた避難所の所在区



4. 担当していた避難所の指名職員としての期間



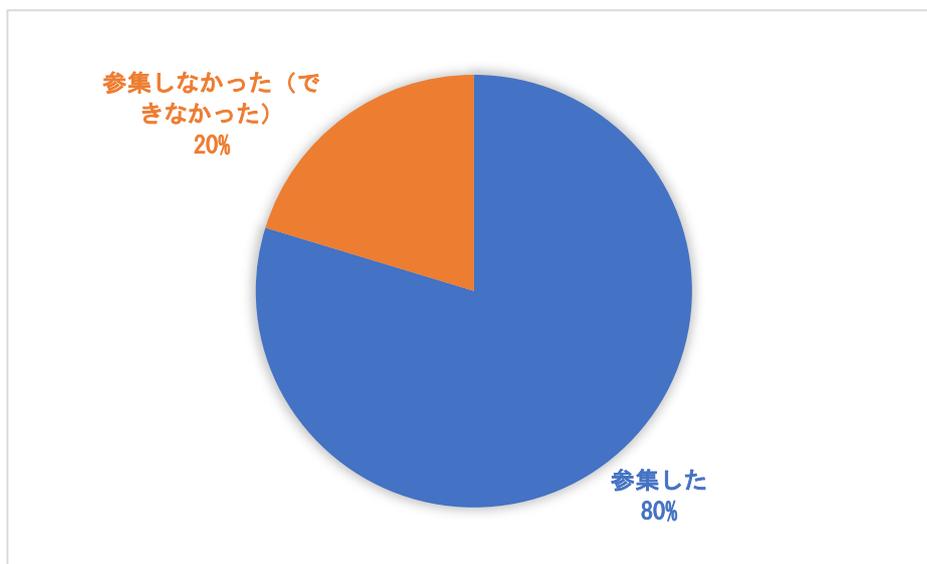
5. 自宅から担当していた避難所までの距離



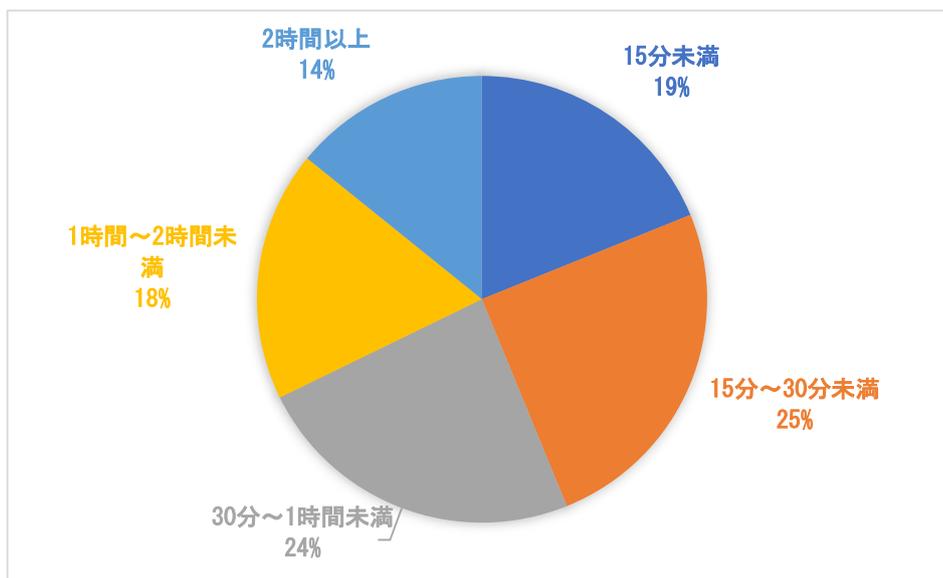
【調査項目】

1. 令和6年能登半島地震での対応について

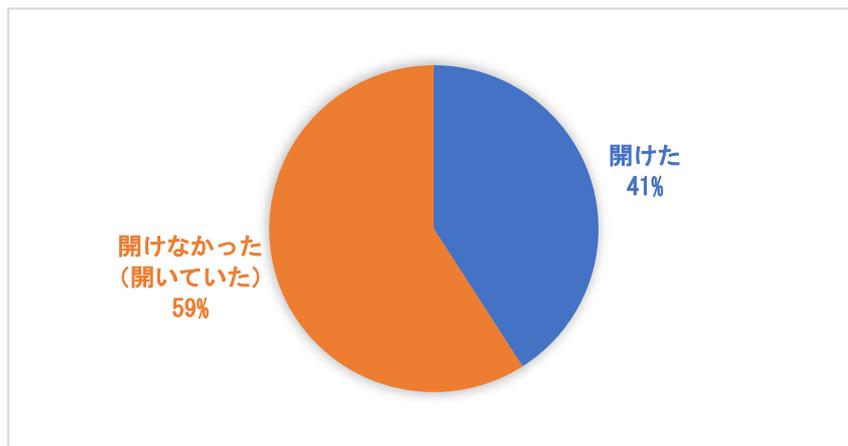
Q1 避難所へ参集しましたか



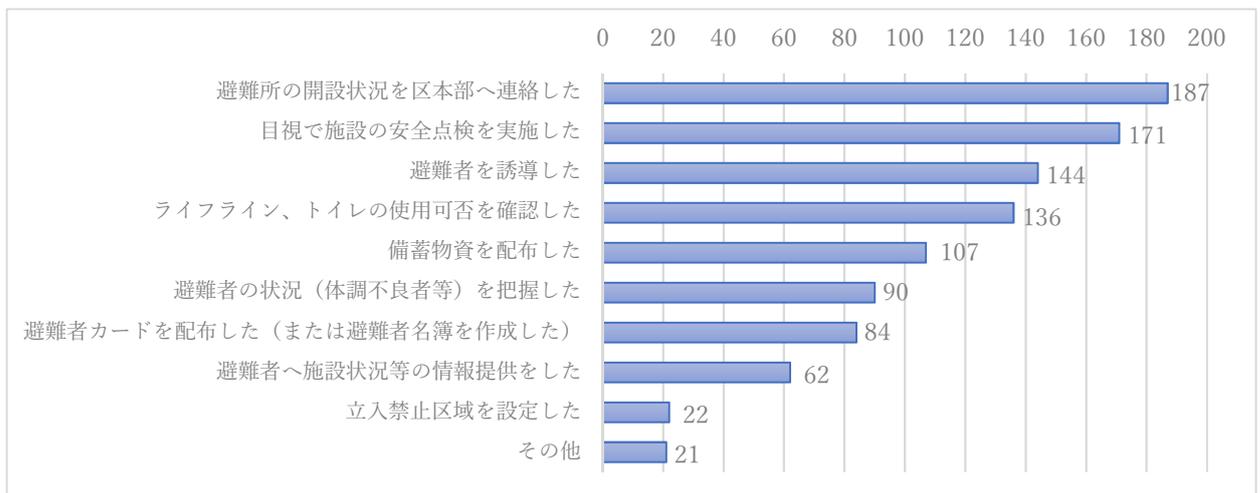
Q2 発災後、避難所への到着時間はどのくらいでしたか。(Q1で「参集した」職員のみ)



Q3 参集後、鍵を開けましたか。(Q1で「参集した」職員のみ)



Q4 到着後に実施したことは何ですか。(Q1で「参集した」職員のみ)
住民や施設管理者等と一緒に実施したことも含む (複数項目選択可能)



<主なその他の内容>

- ・断水などに備え、水をためておいた。
- ・巡回してきた地元自治会と定期的に情報を交換した。
- ・ペット同伴の方が多数おり、同伴者の名簿を作成した。
- ・暖房設備の準備、教室を使用したので暖房を入れた。
- ・受付の設置や施設の正面玄関に避難所への案内を掲示した。

Q5 実際に開設して課題だと感じたことは何ですか。(Q1で「参集した」職員のみ)

<主な内容>

- ・少ない人数で手が回らない。多くの避難者の出入りを把握するのは難しい。
- ・誰にも相談できず、1人での対応はとても不安だった。
- ・災害に乗じた犯罪に巻き込まれる可能性も有り、女性職員だけでの対応で不安だった。
- ・施設の水道・ガスの復旧方法、暖房のつけ方等の事前確認。
- ・施設への被害や二次被害を防ぐための施設管理者との確認。
- ・備蓄物資配布のタイミング。
- ・避難者への指示や統率。
- ・ペットの受け入れ。
- ・車いす、要介助者等への対応。

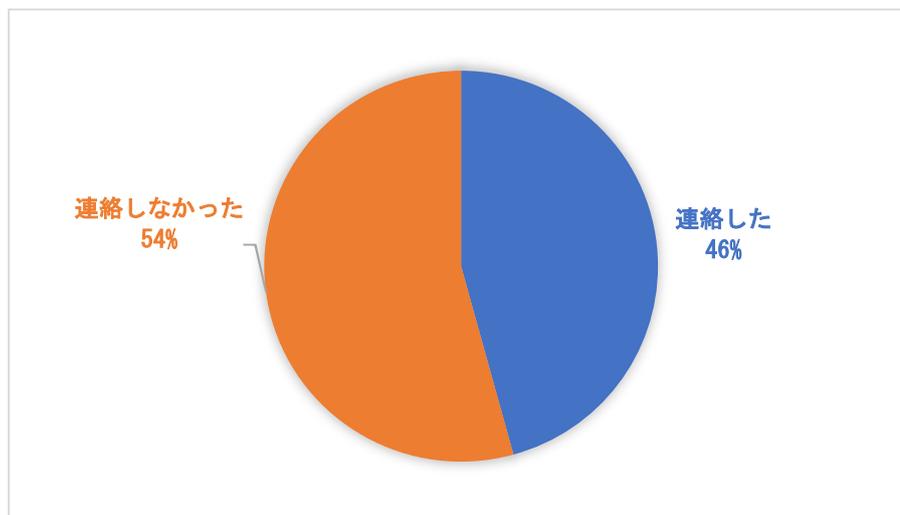
Q6 Q1で「参集しなかった（できなかった）」理由

<主な内容>

- ・市外、県外等に帰省していたため。
- ・実家に帰省し、飲酒していたため。
- ・療養していたため。

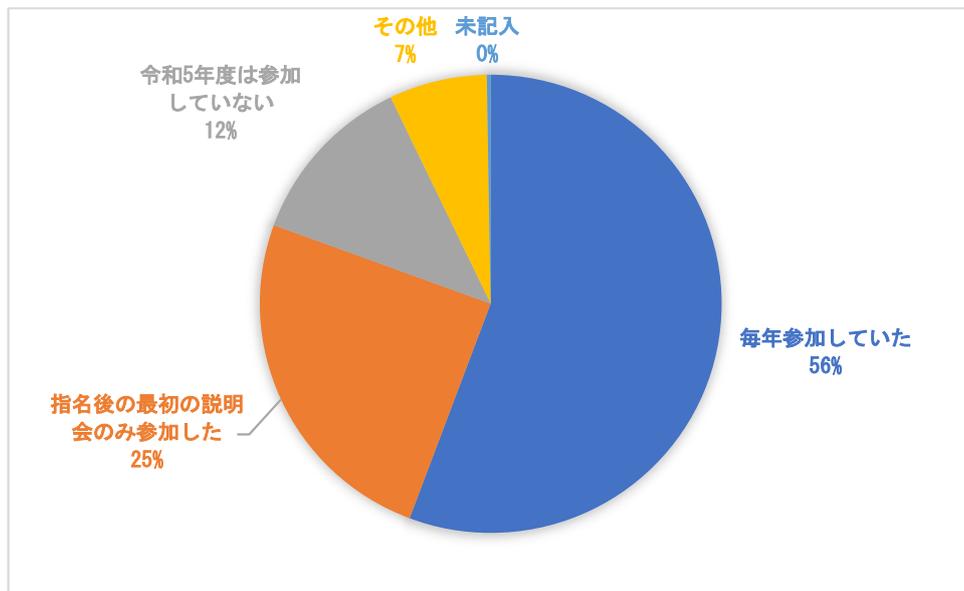
Q7 参集しないことを区役所へ連絡しましたか。

(Q1で「参集しなかった（できなかった）」職員のみ)



2. 平時の取組みについて

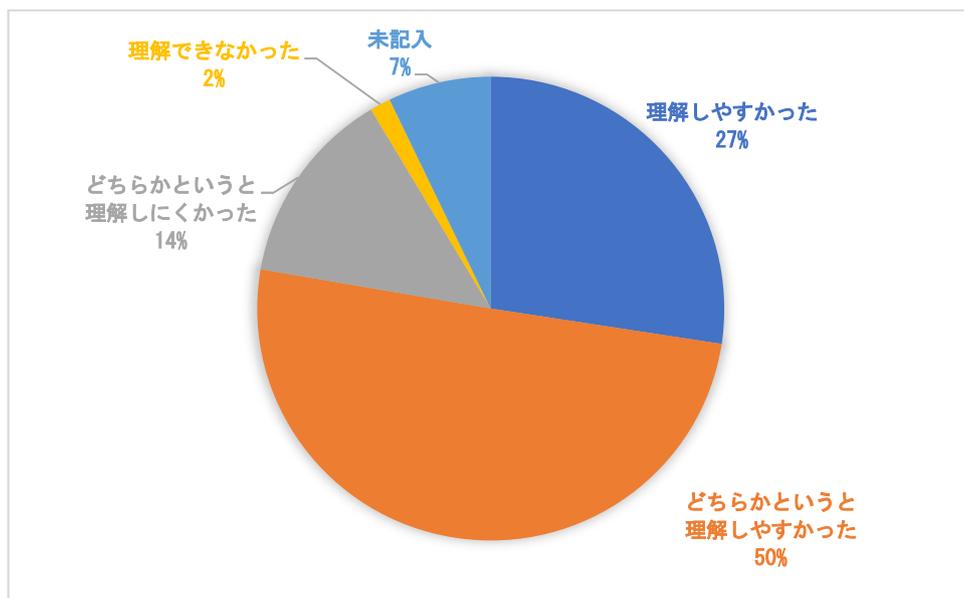
Q8 指名後、区が実施している避難所指名職員の説明会へ参加していましたか。



<主なその他の内容>

- ・仕事の都合上どうしても抜けられなく参加できなかった。
- ・職場の人員不足などで参加できた年とできない年があった。
- ・参加できる年は参加している。

Q9 説明会の内容は避難所への参集や運営にあたり理解しやすい内容でしたか。

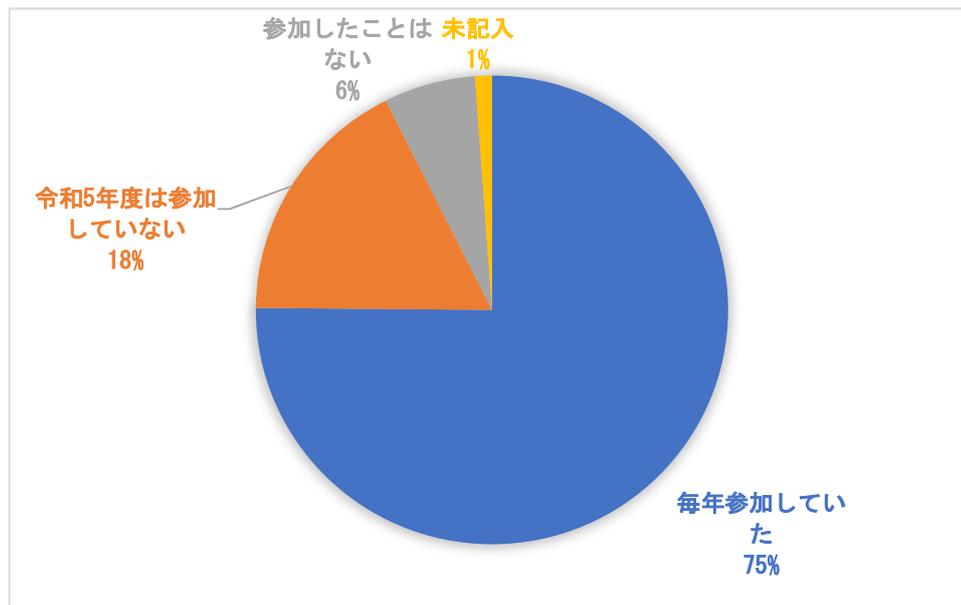


Q10 説明会に参加していない理由は何ですか。(Q8で「毎年参加していた」以外の職員のみ。)

<主な内容>

- ・業務の都合。
- ・新規担当者以外の参加は任意と案内されていたため。
- ・職場の職員配置がギリギリのため参加できない、参加しにくい。
- ・指名後、最初説明会で内容を理解できたため。

Q11 避難所運営体制連絡会へ参加していましたか。

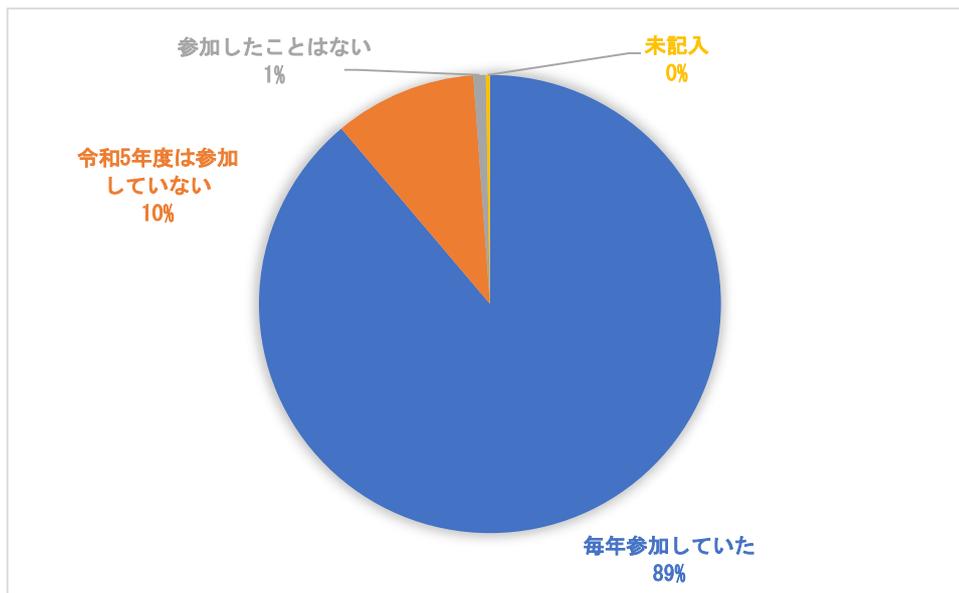


Q12 参加していない理由 (Q11で「毎年参加していた」以外の職員)

<主な内容>

- ・業務の都合。
- ・職場の人員配置の関係で出席が難しい。
- ・療養中のため。
- ・休暇のため。

Q13 現地検討会（または現地確認）へ参加していましたか。

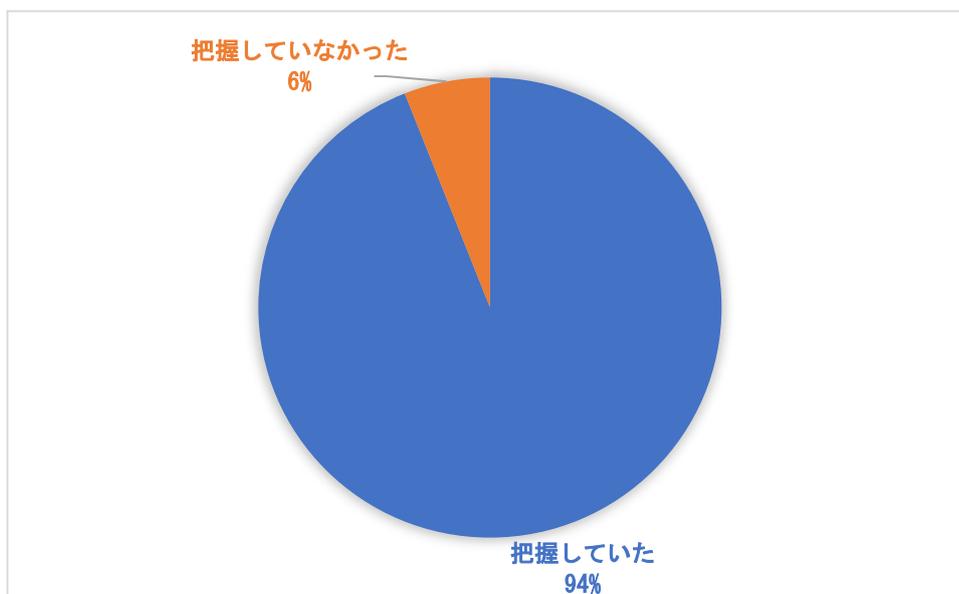


Q14 参加していない理由（Q13で「毎年参加していた」以外の職員）

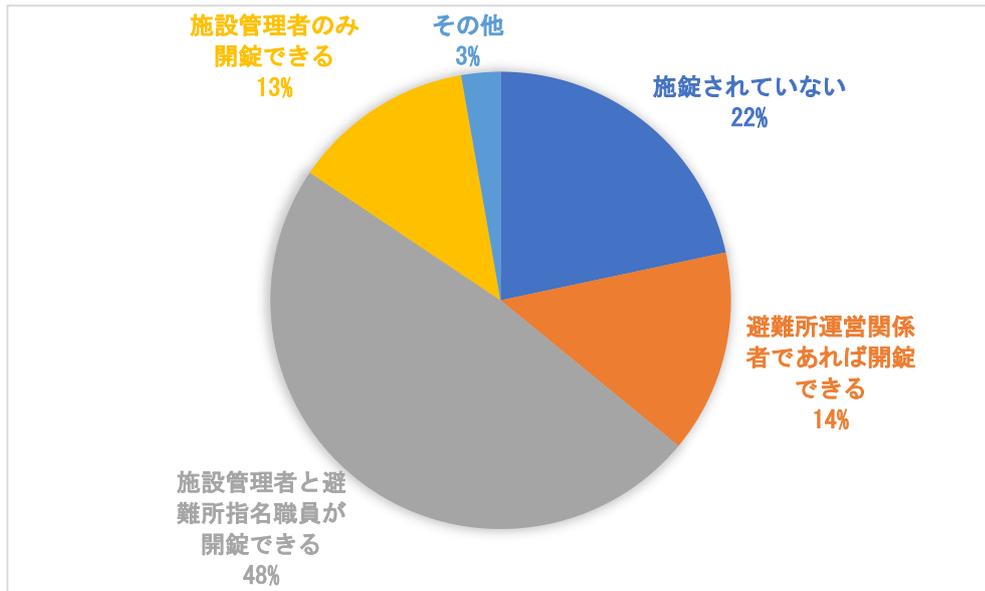
<主な内容>

- ・業務の都合。
- ・職場の人員配置の関係で出席が難しい。
- ・療養中のため。
- ・休暇のため。

Q15 避難所に配備されている物資や資機材の保管場所や使用（設置）方法は把握していましたか。



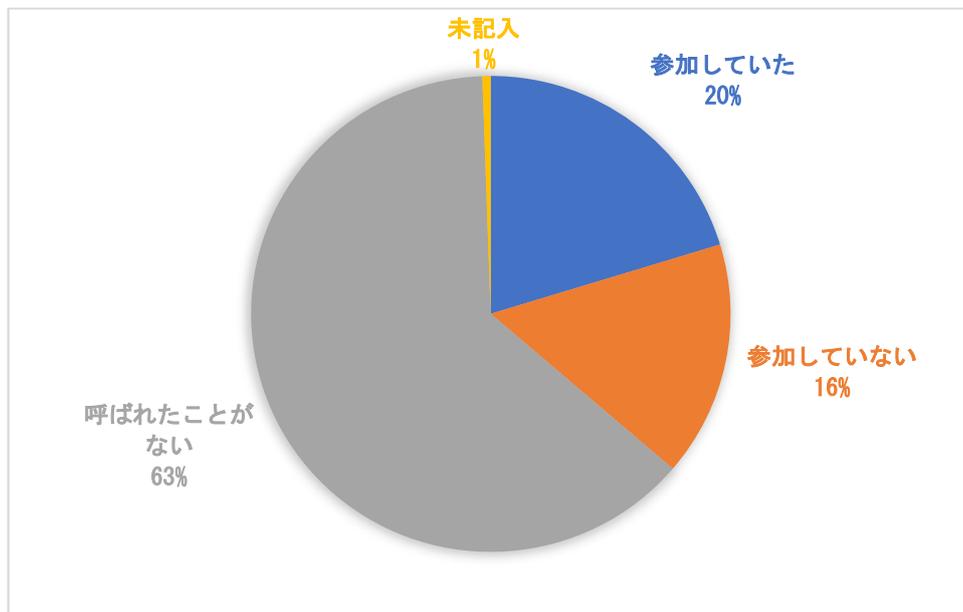
Q16 保管場所の開錠は誰ができる状態でしたか。（Q15で「把握していた」職員のみ。）



<主なその他の内容>

- ・資機材と一部物資は施設管理者と指名職員のみが開錠できる場所へ保管されているが、物資の多くは施錠されていない場所へ保管されている。
- ・訓練に参加したことがある市民は保管庫の鍵の場所を把握しているため開錠ができる。

Q17 地域との訓練に参加していましたか。

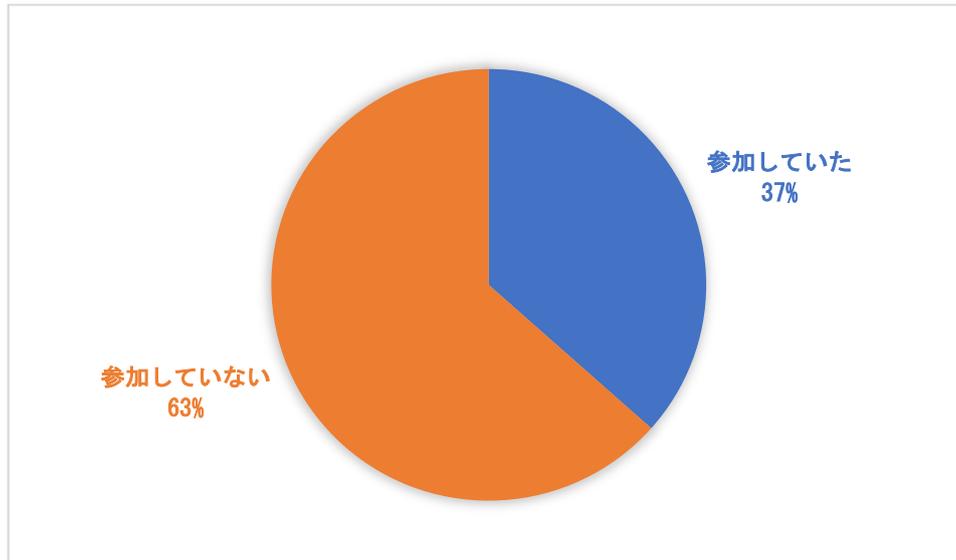


Q18 参加していない理由 (Q17で「参加していない」職員のみ)

<主な理由>

- ・地域で訓練がない。
- ・地域の訓練があるかどうか分からない。
- ・仕事、用事や家庭の都合で参加できない。

Q19 普段から自分の住んでいる地域の活動(自治会・町内会、消防団など)に参加していましたか。

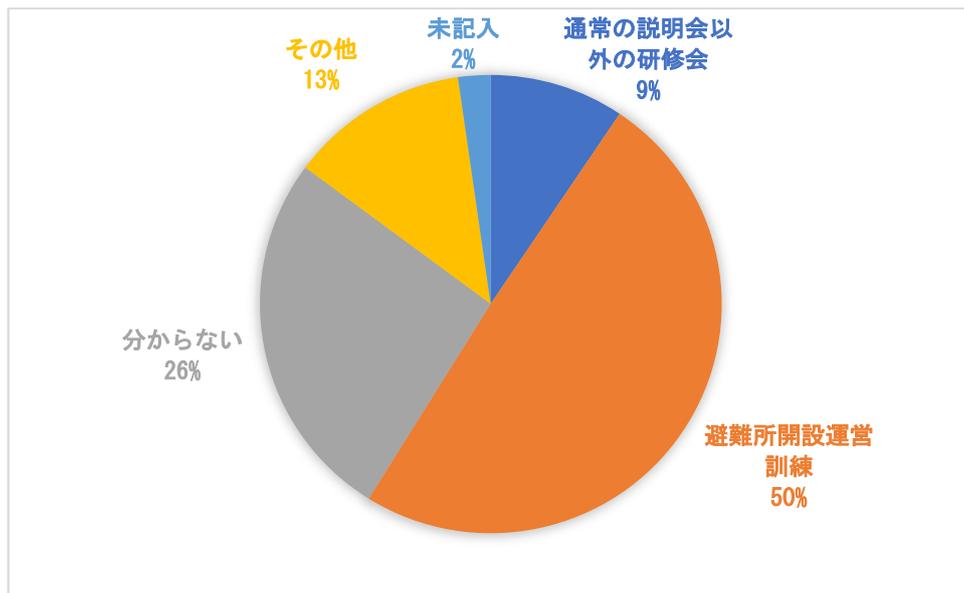


Q20 避難所指名職員をするうえで負担に感じていることは何ですか。

<主な内容>

- ・避難所の鍵の管理。
- ・いつ参集しなければならないという不安感。
- ・避難所までの距離が遠く、すぐに参集できないこと。
- ・自宅不在時や遠方にいるときなどの参集。
- ・任期に上限がなく、長期間指名されていること。
- ・住民の命を預かっているというプレッシャー。
- ・自治会長などの住民の方にリーダーシップをとること。

Q21 避難所指名職員として活動するために必要だと感じていることは何ですか。



<主なその他の内容>

- ・災害派遣で被災した現地の避難所支援。
- ・災害時に市民の安心、安全を守るという職員の意識の向上。
- ・地域との関係性の構築や役割分担等の共通理解。
- ・距離に応じた適正な職員の指名。

○自由意見

<主な内容>

- ・1クール3年や5年で交代するなどの対応が必要ではないか。
- ・区別に指名職員による避難所開設のロールプレイング等を行うと実践的でより良いと思う。
- ・1人あたりの負担が大きいため、増員してほしい。